

○事業所名	児童発達支援センターはる(児童発達支援)		
○保護者評価実施期間	年 月 日		～ 年 月 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○従業者評価実施期間	年 月 日		～ 年 月 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日	年 月 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	【支援】子どもとその家族の願いをに寄り添いつつ、個々の子どもに応じた指導内容を計画し目標を立て、集団や個別での療育指導・支援を行っています。専門職による支援の質の向上と、子どもや家族を理解し支援していくための、研修や職員間の連携を継続していきます。	支援前や後に打ち合わせを行い、子どもの理解を共有し深めることを継続して行っています。職員研修を年間計画に基づき実施することで職員の研鑽をしています。	日々の支援を充実させるために、職員研修等で支援の質を高めることや職員間の連携を継続していきます。職員の業務を効率的に行うなどの工夫をしながら、根幹となる子どもや家族への支援の充実を図っていきます。
2	【環境整備】屋内や玄関の段差をなくし、バリアフリー化しています。就学前の子どもたち向けの遊具や教材を中心にそろえています。個別指導室にはサスペンションエクササイズができるように『レッドコード』と『スパイダー』という運動機器を設置しています。	子どもたちが安全かつ主体的に活動できるよう施設設備を整えています。集団指導では、季節の変化を感じられる活動を行い、それぞれの子どもが主体的に活動を楽しめるような工夫をしています。個別指導では個々の子どもに応じた教材の準備や指導に向かいやすい環境を整えるようにしています。	継続して、子どもたちが持つ力を十分に発揮し活動しながら、生き生きとした生活を過ごせるよう、環境の整備や教材、活動の工夫をしています。
3	【移行支援】小学校等との就学移行において、保護者の希望に応じて引継ぎを実施し、新たな環境下で安心して生活ができるように努めています。□	保護者の就学への不安や悩みに寄り添い、必要なアドバイスや情報提供を行います。就学に際しては、学校に対し引継ぎを対面もしくは電話等で実施しています。からだの支援が必要な子どもについては、学校で必要な福祉用具の相談や用具の貸し出しを実施しています。	引き続き、就学移行のために必要な支援を行います。また、就学先の選択など職員間でも情報を共有し、適切な情報を適時保護者に伝えられるよう研鑽を積んでいきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者等の参加できる研修の機会や情報提供等	研修会については、当事業所以外で開催される学習会を周知しています。また、保護者によって設立された保護者会については、パンフレット等でお知らせしています。情報提供については、子どもの年齢や状況に応じて、多様な知識が必要であり、職員の研鑽が必要です。	職員における保護者支援に必要な知識については、実際に体験したことや発達的な視点から文献学習を実施し、レクチャーなど実施していきます。